

第12回定時株主総会 株主さまからのご質問等に対するご回答

本株主総会においては、多数の株主さまより、インターネットによる議決権行使サイト及び当日のライブ配信のコメント機能を利用したご質問・ご意見等をお寄せいただきました。

本資料では、その中でも寄せられた件数が多く、一般的にご関心が高いと思われる内容についてご紹介いたします。

株主還元に関する事項

(ご質問) 配当性向の考え方、また今後の配当方針について教えてください。

(ご回答) 当社は、2013 年のホールディングス上場以来、利益伸長に応じて機動的に増配を実施してまいりました。

2025 年 5 月に開示した「中期経営計画 2030」では、本計画前半の 2027 年度までの配当性向を 35%以上とすること、また、当社発足以来、実質的には継続してきた累進配当についても、今回、明確に還元方針として導入することといたしました。今後も成長投資を継続し、持続的に EPS を高めることで還元強化を図ってまいります。

なお、2030 年度の財務目標としましては、成長性・効率性指標では EPS 年平均成長率 8%、ROE10%以上、利益目標では、営業利益 2,200 億円以上、当期純利益 1,200 億円以上を達成することを掲げております。

(ご参考) 株主還元方針は、「中期経営計画 2030」でご確認いただけます。

(ご質問) 株主優待について、拡充の予定はありますか。

当社グループの事業は株主様にご利用いただける施設が多数あることから、配当に加え、株主優待という形で還元することで、当社グループ事業への一層のご理解を賜ることを目的としております。

2023 年には、株式をより長く多く保有いただける個人株主様を増やしていきたいとの思いから、「継続保有株主優遇制度」の内容を大幅に拡充いたしました。

今後も様々な意見を参考にさせていただきながら、株主様に喜んでいただける優待制度の提供に努めてまいります。

(ご参考) 株主優待制度の詳細はこちらからご確認いただけます。

役員に関する事項

(ご意見) 取締役会の構成の考え方を教えてください。

(ご回答) 現状、取締役は13名中、うち社外取締役は6名(46%)となっております。
役員全体の女性比率は29%で、多様性にも留意した体制となっております。
今後も、長期経営方針及び中期経営計画の推進に必要なスキルを備えた体制を構築してまいります。

渋谷の開発に関する事項

(ご質問) 渋谷サクラステージが閑散としているというネットの記事をよく見ますが、どのような対策を考えていますか。

(ご回答) 2023年11月の竣工当時は多くのテナントで内装工事中であったため閑散とした印象があったかもしれませんが、2024年7月のまちびらきにかけて順次開業を迎え、東急不動産㈱の保有する区画は満稼働となっております。また、まちびらき以降も、JRの新南改札との接続の効果も受けて、着実に人流・売上を伸ばし続けているところです。なお、当施設は他地権者様と共同で市街地再開発事業に取り組み建設したビルであり、地権者様の保有する区画の一部にまだ空きがある状態となっております。

今後につきましては、渋谷サクラステージ単体だけでなく、周辺の商店街の皆様とも協力をしながら、様々なイベントを実施し、渋谷全体のにぎわい創出に寄与してまいります。

当社グループは、「中期経営計画 2030」の重点テーマの1つとして、「広域渋谷圏戦略の推進」を掲げております。本戦略では、東京の「国際的な都市間競争力を牽引する街」としての発展に寄与することをめざし、行政や地域社会とも連携しながら街の魅力向上に努め、収益化との両立を図ることで、競争優位性を確立し、利益の拡大をめざしてまいります。

(ご参考) 「中期経営計画 2030」で掲げる「広域渋谷圏戦略の推進」は、[こちら](#)からご確認いただけます。

以 上